

一般国道58号 沖縄西海岸道路宜野湾地区における計画段階評価

1. 課題

①空港・港湾からアメリカンビレッジ・残波岬へのアクセス性

○那覇空港～アメリカンビレッジ・残波岬までのアクセスルートは臨港道路および宜野湾バイパスであるが、アメリカンビレッジは31分、残波岬は69分とアクセスに課題がある。(図1)



図1 空港・港湾からアメリカンビレッジ・残波岬へのアクセスルート

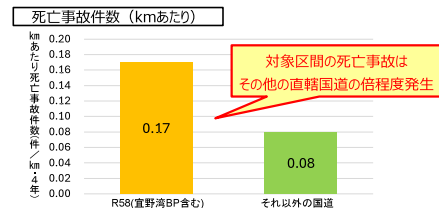
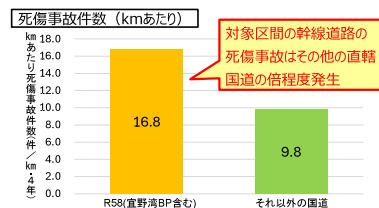
②国道58号・宜野湾バイパスの慢性的な渋滞発生

○国道58号および宜野湾バイパスは慢性的な交通渋滞が発生しており、交通集中による容量を超過した交通利用によって混雑度が大きい区間が存在する。(図2)



③国道58号・宜野湾バイパスの交通事故発生

○国道58号および宜野湾バイパスでは、沖縄本島におけるその他の直轄国道の死傷事故件数・死亡事故件数の平均値と比べ、倍程度発生している。(図3、図4)



2. 原因分析

①産業・観光振興に必要な道路整備が不足

○当該地域中心部の米軍基地により西海岸地域の幹線道路の整備延長は短く、国道58号、宜野湾バイパスに交通が集中している。(図5、6)

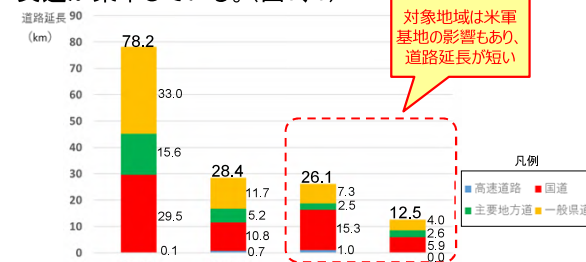


図5 周辺市町村の幹線道路の延長 資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査



図6 中南部地域の位置図

②国道58号・宜野湾バイパスの幹線道路としての機能低下

○南北方向を結ぶ2つの幹線道路へ交通が集中している。特に国道58号は交通量が多く信号交差点が連続しており、速度低下が著しい。(図7)

○国道58号および宜野湾バイパスは利用する車の半数以上は通過交通である。(図8、9)

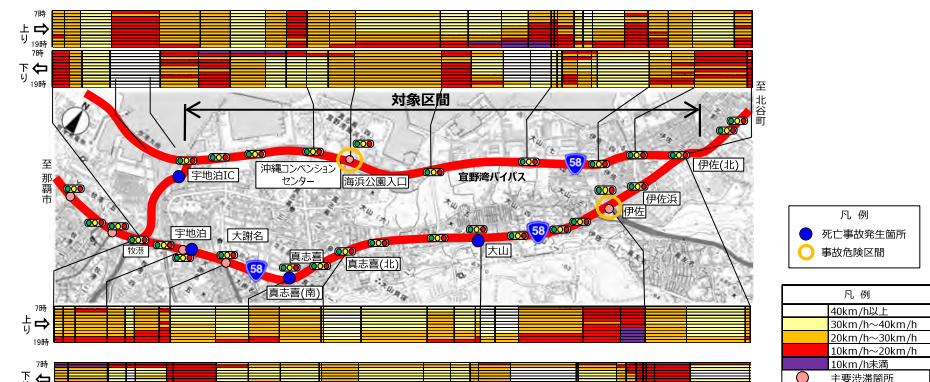


図7 対象区間の旅行速度

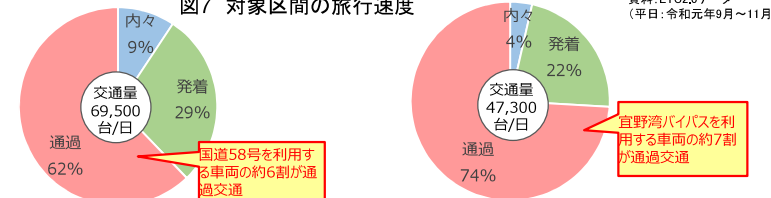


図8 国道58号の交通流動

図9 宜野湾バイパスの交通流動

3. 政策目標

①産業観光振興を支援する道路ネットワークの強化

②幹線道路の機能向上(交通渋滞の緩和・安全性の確保)

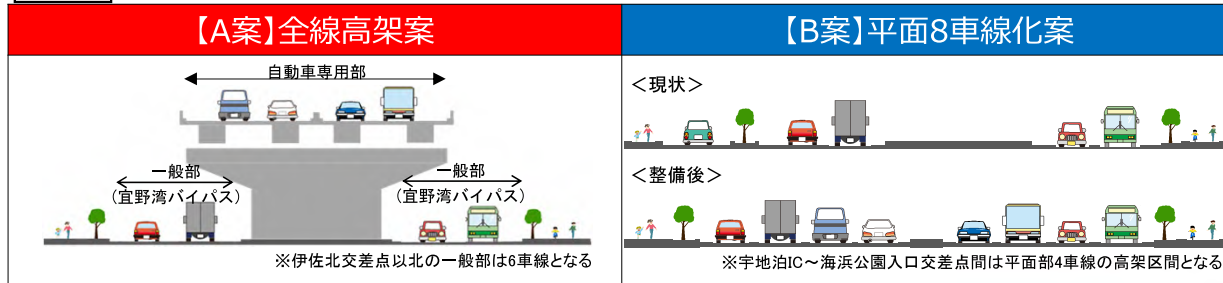
一般国道58号 沖縄西海岸道路宜野湾地区における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価項目		【A案】全線高架案		【B案】平面8車線化案	
政策目標	①産業観光振興を支援する道路ネットワークの強化	○	自動車専用部の設置により、所要時間が大幅に短縮 ・現況に比べ約9分短縮	△	車線数が増加するものの、所要時間短縮の効果はA案より低い ・現況に比べ約6分短縮
	②幹線道路の機能向上(交通渋滞の緩和・安全性の確保)	○	混雑度は大幅に改善される ・【現況】2.14⇒【整備後】0.79	△	改善はするものの、A案よりは効果が低い ・【現況】2.14⇒【整備後】1.53
		○	通過交通の転換 ・高架により通過交通の転換が期待される	△	平面区間では沿道利用と通過交通が混在する
		○	交差点流入交通量 ・高架により下のバイパス区間の交差点を走行する交通量が減少する ・【現況】46,000台/日⇒【整備後】6,000台/日	×	すべての交通量が平面区間の交差点に残るため交通量は減少しない ・【現況】46,000台/日⇒【整備後】60,700台/日
		○	主要渋滞箇所・事故危険区間 ・主要渋滞箇所及び事故危険区間である海浜公園入口交差点を高架により回避するため、バイパス区間の交通量減少により事故危険区間は改善される	△	主要渋滞箇所及び事故危険区間である海浜公園入口交差点を高架により回避するが、平面区間は交通量が増加するため事故危険区間は改善されない
		○	防災 ・高架構造であるため、津波災害時に道路として機能する他、避難場所となる	×	平面構造であるため、津波災害時に道路として機能しない
	利便性	○	沿道へのアクセス ・中間ICの設置を想定しているため、沿道へのアクセスは可能	○	平面部はアクセス制限なし
道路整備による影響	生活道路への配慮	○	生活環境への影響 ・交通が高架に転換することで、下のバイパスの沿道環境が改善される	△	車線数が増加するものの、平面区間では沿道利用と通過交通が混在するため、沿道環境は改善されない
	工事の影響	△	工事による規制範囲がB案よりも広く、規制期間も長い	○	工事による規制範囲は狭く、規制期間も短い
	景観	△	景観への配慮 ・高架構造となり景観への影響が懸念される	○	平面構造のため景観への影響は問題ない
	沿道への影響	△	影響する家屋数 ・B案より多い	○	A案より少ない
	事業費	△	約1300～1400億円	○	約400～500億円
	維持管理費	△	高架構造により道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理コストはB案より高い	○	平面構造により現在の道路を改良するため、維持管理コストはA案より安い
総合評価		○			△

【凡例】○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る

断面図



対策方針：A案による対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名：一般国道58号
- ・区間：おきなわけんちやたんしやうちやたん 沖縄県北谷町北谷 ～ ぎのわんしやうちやたん 宜野湾市宇地泊
- ・概略延長：約5.8km ・設計速度：80km/h ・標準車線数：4車線
- ・概ねのルート：A案のとおり

(参考) 当該事業の経緯等

計画段階評価の状況

- 令和3年1月 第1回地方小委員会 ※計画段階評価手続き着手
- 令和3年3～4月 第1回意見聴取(地域課題と政策目標(案))
- 令和3年12月 第2回地方小委員会
- 令和4年1～3月 第2回意見聴取(対応方針(複数案の検討に際し重視する項目))
- 令和4年12月 第3回地方小委員会
- 令和5年2月 対応方針(概略ルート・構造)の決定

地域の要望等

- 令和2年2月 宜野湾市副市長が内閣官房長官、沖縄担当大臣へ早期事業化を要望
- 令和2年3月 宜野湾市長が内閣官房長官、国土交通大臣、沖縄担当大臣へ早期事業化を要望
- 令和2年7月 宜野湾市長が国土交通大臣政務官へ早期事業化を要望
- 令和2年12月 宜野湾市長が国土交通大臣、内閣府沖縄担当大臣へ早期事業化を要望
- 令和3～6年5月 沖縄県道路利用者会議、道路整備促進期成同盟会沖縄県地方連絡協議会、沖縄国道協会の3団体が内閣府及び国土交通省へ早期事業化を要望
- 令和5年11月 宜野湾市長が国土交通大臣、沖縄担当大臣へ早期事業化を要望
- 令和6年4月 宜野湾市長が国土交通大臣、内閣官房長官、沖縄担当大臣、他へ早期事業化を要望
- 令和6年7月 宜野湾市長が国土交通大臣、内閣官房長官、沖縄担当大臣、財務省へ早期事業化を要望
- 令和6年11月 宜野湾市長、北谷町長が国土交通大臣、財務省へ早期事業化を要望
- 令和7年2月 宜野湾市長、北谷町長が国土交通大臣、財務省へ早期事業化を要望

